

入選

作文部門

小学校低学年の部

しらべたらすごいぞマンホール

富士市立吉原小学校 二年 西川 鼓二郎

「マンホールカードをもらいにいこう。」

夏休みになってお兄ちゃんがぼくに楽しいことを言いました。さっそくお母さんにたのんでもらいに行きました。ふじ市の下水道をかんりしているところでもらいました。ちつとドキドキしたけどうれしかったよ。キレイな色のふじ山が書いてあつて町で見たことがあるなーと思いました。ぼくは、マンホールのいみは何かなと考えました。ホールはあなといういみです。マンは何かな？ インターネットでしらべたら、人のいみでした。マンホールは、人が入るあなといういみです。ぼくははじめてしてびっくりしました。マンホールのちよけいは、やく90センチメートル、人が入るのには小さいなーと思いました。人がはいつて何をするのかしらべました。下水道のそうじやいじようがないかみててんけんしています。下水道の中は、さんそがすくなくてきけんだからふつうの人は、入ってはダメ。ぼくもはいつてみたいけど、入ってはダメ。マンホールがあるとこは、水道かんのてんけんがひつようないじなどこです。たとえば水道かんがごうりゆうしたりしているところ。マンホールの下がますます気になります。

マンホールのおもさは、やく100キログラムです。だいたいいえの大きいれいぞうこぐらいです。小さいのにおもたいなーとびっくりしました。どうやってうごかすのかな。マンホールは、てつなのでさびたりいたんだりするので、そのてんけんもひつようです。ふじ市には、いろんながらのマンホールがあります。ふじさんとかかぐやひめとかたごのうらとかトイレットペーパーとか、よく見たらしらすとかサクラえびもいました。しょうわ40年ごろのむかしのマンホールもふじしのどこかにのこっているそうです。マンホールさがしに行きたいな。